

令和7年3月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

アントクメの天然採苗と室内種苗生産

伊豆分場では、2022年より稲取漁港の岸壁に生育するアントクメから種苗を採取する天然採苗を行っています。今年度は2024年11月8日に採苗器を設置し、2025年1月17日、30日、2月17日に幼体の着生を確認し、順調に生育しています。

また、今年度は、新たにアントクメの室内種苗育成も試みています。10月に稲取漁港で採取した母藻から放出した遊走子を、室内インキュベーターの中で培養しました。現在（2月下旬）は、直径1mm程度の幼体に生長しています。

どちらの幼体も今後、藻場造成研究に活用していきます。

解説 遊走子：藻類・菌類の無性生殖を行う胞子で、遊泳能力を有するもの



天然採苗したアントクメ幼体
(2025年2月17日)



↑ 室内培養の様子



室内育成したアントクメ幼体
(2025年2月25日)

熱海上多賀でアカモク養殖の試み

大熱海漁協管内のワカメ養殖が近年不調となっており、ワカメに代る海藻養殖の要望があがってきています。昨年、試験的にアカモク養殖に挑戦しましたが、魚の食害で生育しませんでした。今年は昨年の轍を踏まないよう海苔養殖で用いられている食害対策を併用しながらアカモク養殖を試みています。

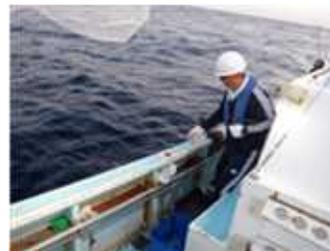
分場で生産した全長15cmのアカモク種苗60個体を2月19日に沖出ししました。養殖方法はワカメと同じ、ロープ差し込みです。魚の食害を恐れ、収穫まで至ることを願っています。



↑ロープへの差し込み作業
養殖の様子 →

キンメダイ親魚採捕調査

伊豆分場と深層水科が共同して取り組んでいるキンメダイ種苗生産研究の一環として、漁船で活きたキンメダイを確保する親魚採捕調査を行っています。今年度は6月から2月にかけて新島沖で9回、稲取沖で3回実施しました。新島沖では合計59尾採捕し、主に伊豆分場で人工授精試験に供しました。稲取沖では合計149尾採捕し、焼津市の深層水利用施設に搬送し、そこで長期飼育してホルモン投与等による成熟試験に供しました。



新島沖



稲取沖

キンメダイを釣り上げる

3月の予定 ● キンメダイ種苗生産研究等報告会（3～4日大阪） ● 海業本部会議（12～13西伊豆） ● 下田市水産・海洋学講座（18日） ● 潜水調査（テングサ作柄調査ほか）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。